

連載

# 房総の自治鉅脈

— 第4回 —

戦後直後期の県内選挙動向



一般社団法人 千葉県地方自治研究センター  
理事長 井下田 猛

## 大選挙区制限連記制の選挙と新憲法と地方自治法の制定

あまりにも長く続いた1931（昭和6）年の満洲事変～45（昭和20）年にいたる“15年戦争”の敗戦の翌46年4月10日の総選挙から、わが国の民主政治がはじまる。

この戦後第1回で明治以来通算第22回衆議院総選挙（臨時）の選挙結果は日本自由党140、日本進歩党94、日本社会党92、国民協同党14、日本共産党5、諸派38、無所属81、計464名であった。今回から女性たちが実現を求め続けてきた婦人参政権（女性選挙権と被選挙権）が、初めて認められた。この選挙の女性の立候補者は83名で、うち39名が一挙に当選して国会の議席を占めた。その党派別内訳は、日本自由党5、日本進歩党6、日本社会党7、日本共産党1、諸派9、無所属11である。そして今回の定数は468で、選挙区種は大選挙区で選挙区数は54（沖縄県2を含むが不施行）であり、投票方法は都道府県単位の制限連記制がとられた。

今回の場合、軍国主義者・超国家主義者など政界・経済界などにおける戦争協力者の公職ならびに教職からの追放（第1次）が既にはじまり、これ以降も戦時の市町村長を対象とする第2次公職追放がなされて各種の選挙動向に決定的影響を与えた。しかし選挙法の改正については連合国軍総司令部（GHQ）の介入は少なく、選挙運動制限の大幅緩和などがとられている。

この選挙の特徴は、小党分立と女性議員の進出が顕著である。とりわけ、苦しく辛い“15年戦争”の戦争体験をバネに平和と自治の実現を目指して、彼女ら女性議員達とこの議会に結集した議員が“憲法制定議会”の百日審

議に鋭意当たり、日本国憲法の制定と明治憲法下の官治的地方自治制がくつがえされて地方自治法が制定された。

他方、選挙権の拡大から県内の有権者は前回の約34万人から約104万人へと3倍増した。全県1区の千葉県の総選挙の定数は13で、制限連記制であるから投票用紙に同時に連記できる人数は3名以内である。立候補者は85名（うち1名辞退）で6.5倍の競争率となった。選挙結果は日本自由党6、日本進歩党2、日本社会党1、新日本青年党1、無所属3の計13議席である。

全国的には新人の進出が顕著で、千葉県でも2位当選の成島勇（95,553票、56歳、日本進歩党）以外はすべて新人である。なお、成島は東条内閣の翼賛総選挙（1942年4月実施）で非推薦議員として当選していたが、次回の47年総選挙で公職追放該当者となる。そして、県内の場合も日本進歩党に公職追放組が多く出て、党勢は伸び悩んだ。

県内の新人議員に混じって唯一、紅一点の竹内歌子（62,614票、32歳、新日本青年党＝諸派）が13人中5位で当選した。竹内は岡山県出身で新聞社勤務と会社取締役などの経歴をもつが、婦人運動などの経験はない。長生郡八積



県内初の女性代議士となった竹内歌子

村（現、長生村）に疎開していて、締め切り日の前日に立候補を表明した。そして「男女青年の使い走りをしてながら自由平等の日本を築き上げたい」と、当選の弁を語っている。しかし、戦後はじめての今回の総選挙の県内

の投票率は64.3%で、全国平均の72.08%に遠くおよばず全国最低であった。

## “選挙の月”の1947年4月 選挙と知事選の結果

一方、戦後わが国の地方政治レベルの選挙は1947（昭和22）年4月にはじまる。この翌5月からの日本国憲法と地方自治法の施行を前に、国内の統治体制の整備が目指される。このため4月5日に都・道長官と府県知事、それに市区町村長、20日に第1回参議院議員選挙、25日に第23回衆議院総選挙（臨時）、30日に都道府県議と市区町村議の両選挙が相次いで実施された。この4月は目白押しの“選挙の月”として、日本列島が選挙一色の空前の選挙ラッシュの観を呈した。

4月はじめと後半の2ラウンドにおよぶ全国いっせいの地方レベルの選挙が、統一地方選挙である。しかし、その後自治体首長や議員の死亡・辞職や解散、それに昭和と平成の大合併などで選挙日程がズレてきていまでは統一選挙ではなく、“同時期自治体選挙”の様相を示している。げんに2011年の場合、全地方選挙に占める割合の統一率は28.99%と3割に届かず、過去最低を更新した。そして、今回2011年の地方選は通算第17回目の自治体選挙を招いている。なお、1947年は亥年に当たっていたが亥年の場合、参議院選挙とのダブル選挙が以後繰り返されることになる。

戦前の場合、内務大臣が任命する主として内務省出身の高級官僚が知事ポストに就いた。そして政友会と憲政会（1927年6月以降立憲民政党）両党による政党の人脈が地方自治に優先して“党弊ノ害”が著しく、頻繁に知事更迭が繰り返された。従って千葉県内でも昭

和期22年間の官選千葉県知事は18名におよび、彼らの在任期間はきわめて短期間であった。さらに大正デモクラシーの地方自治運動の高揚とともに郡制・郡役所廃止にくわえて、自治体警察の要求と知事公選運動が全国的に叫ばれた。その象徴例が、1926（大正15）年7月に騒擾事件と化した長野県の知事官舎・県議会占領を招いた長野事件である。

戦後第1回の県知事選は1947年4月5日に実施され、川口為之助（日本自由党）、織田智（無所属、民主党推薦）、山口久太（日本社会党）他3名の計6名が立候補した。川口は戦前に旧政友会所属の県会議長の任にあったが、既に67歳で隠退していた。織田は元千葉県経済部長で、この年3月に山形県知事に就任したばかりであり、山口は佐原高等女学校長に就いていた。

投票結果は川口が198,408票、織田169,183票、山口99,244票などである。しかし川口の得票数は有効得票数の8分の3以上の得票数に達していなかったから、2位の織田との間で4月15日に決選投票が行われた。結果は川口284,321票、織田242,349票で、川口が千葉県初の公選知事に就いた。知事選の第1回目の投票率は59.8%で、決選投票のそれは48.2%にとどまっていた。なお、決選投票は全国で8県17市で実施された。そして知事・市長に女性の立候補はなく、村長に4名の女性が当選している。

## 衆参選挙と 県内議会選挙の概要

ここでは“選挙の月”の投票日の順序とは異なって、はじめに国政選挙結果を示しておく。

4月25日実施の第23回衆議院総選挙（臨時）は前年に行われた選挙とは異なって戦前の中選挙区・単記制に戻され、選挙運動の規制が強化された。この年の県人口は約211万人で、県内の選挙区は3分割されて1区（定数4、立候補16）、2区（定数4、立候補10）、3区（定数5、立候補18）である。

選挙結果は日本自由党8、民主党3、日本社会党1、無所属1の計13議席である。地盤、看板、鞆（かばん）の“3バン”が優位を占める中選挙区単記制の今回の選挙で先述した成島勇が大政翼賛会支部長の履歴が公職追放となり、夫の身代わりで立った1区の成島憲子（民主党、34,809票）が第1位当選を果たしているが、他に女性の当選者はいない。

他方、総選挙に先立って4月20日に第1回参議院選挙が実施された。

千葉地方区の場合定数4で、10名が立候補した。当選は小野哲（6年議員、無所属、144,967票、前千葉県知事）、山崎恒（6年議員、無所属、85,134票、千葉県農業会専務理事）、玉屋喜章（3年議員、日本自由党、53,840票、千葉合同無尽社長）、浅井一郎（3年議員、民主党、51,721票、君津郡大貫町長）である。なお、この参議院選の投票率は47.6%で全国最下位であり、女性のそれは37.1%にとどまっていた。

次いで4月30日投票の県議会議員選挙の場合、戦時特例の非常措置や戦後の再々の延長から県議の任期が延長されて、1940（昭和15）年1月の選挙以来、7年ぶりの選挙を招いた。今回は県内7市12郡の計19選挙区で定数60と増員され、178名が立候補した。ここでも、公職追放の影響があり前職4名、元職3名の立候補以外はすべて新人である。

結果は日本自由党27、民主党19、日本社会党7、国民協同党1、無所属6、計60議席となり、3名の女性候補はいずれも落選した。日本自由党と民主党で3分の2を超えていて、草の根保守陣営は依然として根強い。それでも知事与党となった日本自由党は第1党ながらも過半数に届かずに、川口県政の議会運営は多難をきわめる。

一方、知事選挙と同日の4月5日に市町村長選が実施された。

市町村長の場合、1926（大正15）年から43（昭和18）年までは当該議会の議員を除く候補者を議会の選挙で決めていて、43年以降市長は議会推薦者を内務大臣が任命し、町村長は議会選挙当選者の知事認可制となっていた。従って従来は任命認可制市町村長で住民の直接選挙ではなく、議員による間接選挙で市町村長など首長の選任権は議員に帰属していた。ようやく今回からはじめて住民が市町村長を直接に選出する公選法が知事選同様に採用されることになった。

しかし、ここでも公職追放の影響から県内市町村長への立候補者は乏しく、とくに郡部では低調なレベルにとどまり、そのうち町村長選では無投票当選が全体の半数弱の43%に達した。

そして県議会議員選挙と同時に実施された4月30日実施の市町村議選挙では旧来型選挙が圧倒的で地域・校区代表などとして推薦を得て、なかでも地元名望家である“ダンナ衆”が議員に就いて、依然として無所属という名の草の根保守派議員が多数派を占めていた。

これで知事の決選投票を含めて、千葉県内では都合5度におよぶ“選挙の月”の4月が終わった。